

はじめのお手つだい

島原市立第五小学校 二年 鳥山 叶と

「ぼくも、お手つだいたい。」

ぼくの父さんは、お米のうかのです。ぼく

は、お父さんが作ったお米が、大好きです。

ぼくは、今年はじめに田うえの手つだいい

をしました。お月にはねまきをして、二十日

後に田うえをしました。たねまきは、手つだ

えなかつたけど、田うえを手つだうことがで

きました。今年は、いつもいいうにあつく

て、一日中外で田うえするのは、大へんで

した。お米のなえはこは、とてもおもしろくて、

のせるのがむずかしかったの、お父さんが

お母さん、おいしいちゃんやおばあちゃんとい

しょにもち上げて、セツトしました。あとは、

お父さんが田うえをしてくれました。ぼくは、

そのあいだに、なえばかりたり、たま

に田うえぎにのせてもらいました。

「ぼくも、いつか田うえぎをうんてんして、

お手つだいたいしたいな。」と、うんと「もつと」

はんをたくさん食べて、大きくなっ
てからだ
よ。と言われました。たくさん食
べて大きく
なったら、お父さんといっ
しょに田うえをし
たいです。十月になっ
たら、いねがりの手た
いもがんばりたいです。

はじめて手だいをしたけど、あさ早くから
あつち中、ずっと外にいて、外がまっくらに
なっても、田うえをするのは、たいへんだと
思いました。お父さんから、「お米一つぶこ
つぶに七人のかみさまがいるんだよ。だから

のこさず大切に食ぶようね。」と、よく言われ
ます。ばくには、まだ一つ一つのかみさまの
いみをりがいするのには、すこしむずかしかつ
たけど、お米をつくる人の大へんさがあかつ
たので、のこさず大切に食ぶたいと思いまし
た。お父さんがつくるお米が、一ばんだいき
です。

「いただきます。おいしいお米をつくら
てくれてありがとう。の気もちをこめて、まいに
ち手を合あせたいです。」